

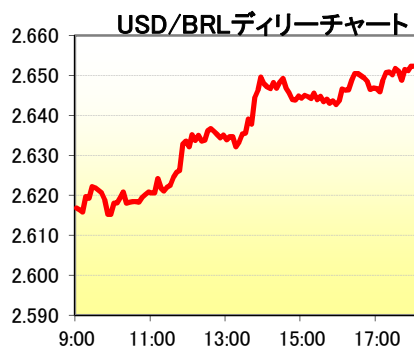
## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 1. マーケット・レート

			12月5日	12月8日	12月9日	12月10日	12月11日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2.5890	2.6000	2.5960	2.6170	2.6520	+0.0350
	USD/YEN	Spot	121.38	120.53	119.54	117.83	119.17	+1.34
	EUR/USD	Spot	1.2293	1.2324	1.2374	1.2447	1.2382	-0.0065
	BRL/YEN	Spot	46.89	46.35	46.05	45.03	44.93	-0.10
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1.5020	1.5380	1.4590	1.5360	1.1230	-0.41
		1Year(p.a.)	1.9760	1.9840	1.9180	1.9520	1.7820	-0.17
	Real Interest	6MTH(p.a.)	12.17	12.25	12.21	12.24	12.26	+0.02
		1Year(p.a.)	12.40	12.47	12.45	12.47	12.49	+0.03
Stock	Bovespa		51,993	50,274	50,193	49,548	49,862	+314
Bond	CDS Brazil 5y		165.63	177.86	176.67	188.11	192.13	+4.01
	Global 40		106.950	106.750	106.750	106.575	106.250	-0.33

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
なし			

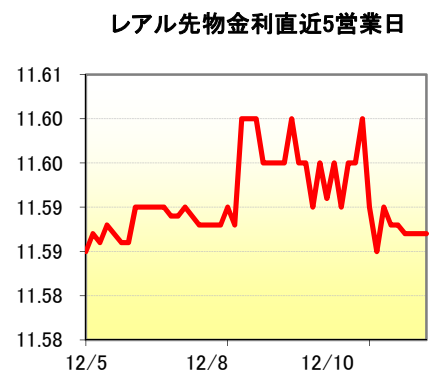


## 3. 要人コメント

トンビニ伯中銀総裁	12ヶ月平均のインフレ率は上昇し続けている。CPIは今後数ヶ月上昇する可能性がある。CPIが少しでも早くターゲットに向かうよう行動していく。
-----------	--

## 4. 市況、トピックス

- 本日の為替相場はUS\$1=R\$2.6170で寄り付いた。
- 早朝に発表された先週のCOPOMの議事録において、インフレは高い水準で根強く残っており、短期的にインフレが加速するかも知れないとの見解が示されると、利上げ期待からレアルは本日の高値となるUS\$1=R\$2.6120まで上昇した。しかし、議事録では金融政策が中立に向かっているとも述べられ、レアルが輸出産業をサポートするというレアル安容認とも取れる表現もあった。このため、レアル高値をつけた後はすぐに反落した。
- その後発表された米11月小売売上高が8ヶ月振りの大幅な伸びとなると、ドル全面高の展開となり、レアルは続落。直近安値の2.62台後半を下抜けると、短期筋のロスカットもあり2.63台半ばまで一気に下落した。
- その後は、原油価格が2009年以来始めて60ドルを割り込んだことや、中銀総裁のコメントで為替への言及がなかったこと、為替介入プログラムにも変わった動きが見られなかったことを受けてレアルに失売売りが広がった。レアルは2008年のリーマンショック後につけた安値を更新し、2005年4月以降9年8ヶ月振りの安値となるUS\$1=R\$2.6540を示現した。
- 結局、US\$1=R\$2.6520でクローズした。



当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。